

# てんぱー新聞

'18.10.No256  
発行 市岡 昭  
責任 0883-88-5292

# 天高く

天狗隊



9月が雨が多くて、陽差しを樂しめる日が少なくて終りそう  
だ。  
日本各地で大雪が続ぎ、暗  
いニースが続ぎ、ひどい寒気が  
重い目でもありました。  
そうでなくとも、人口が減り続  
け、限界集落の言葉も  
現実味をおびてくる。  
そんな、現実の上に大雪が  
あると、もう集落がなくな  
つてしまふ。いつの場合も、大  
害の後で、様  
々な問題が  
きて来ふ、より  
深刻な現実  
をつきつけら  
れる。  
平常では、日  
をさらしてと  
も、災害の時  
には、意識せ  
ざるをえな  
い。  
だからこのか  
最近は、早く  
から、注意を  
喚起してくれ  
る。  
反面、より心配  
を大きくする  
ともいえる。

道路等は、早く直して通行で  
きる様になるけれど、目に見え  
ない、地域をつなかりが切れ  
て、修復できな  
い。時間もかかるので、長持が  
切れると、大変だ。  
本当に暗くなつてくる。  
商店街再生に力を注いで  
いるデザイナーの木藤さん  
の話を新聞で見ました。  
その木藤さんの話に  
「イベントは、人を集  
めるためにではなく、  
人との連携を作ることを目的に開くべき  
だ」とありました。  
本当にそうです。イベントは、毎月、いや毎週  
の様にあり、賑わっている様に見える。お気があ  
り、元気の地域に見えるが、果たそうぞろ  
うか。  
本当に、元気が活気がある地域は、地域の  
人々の顔が違つて見えることを何度か感じ  
てきました。それは、イベントの時ではありませ  
ん。イベントの時では言うまじむなく、日商に  
え気のもとを感びます。  
人が集まらなかり、やめてしまふ。補助金が  
はなくなり、イベント、何度見てもここ  
とか、天高くスカットする秋空の様は、一  
ひたりが輝いて、元気の地域になれば、たと  
願客が来なくても、幸せな地域になるのだ、

秋  
10月7日



# かかし祭

NAGORO



そうぞろ... 秋の気配がそこそこ、  
に見られる様になりました。  
剣山三山鎮も、ブドウの葉木が紅く染り  
はじめ、実も食べ頃です。  
今年も、かかし祭り、秋のはじめ  
りです。ソバ畑も少く黒味をおび、  
つけはじめ、畑の周りにはコスモス  
花がススキと共に風にゆれ、います。  
まよと緑が困っているなど見れば、マ  
ケビも食べ頃。  
そんな名頃地区に、新人のかかしも多数  
出現し、かかし祭りが、十月七日に開  
かれます。昨年は森の中に、森の妖精  
があつた、うちで顔を出してました。  
さ、今年は何と、かかしが、かかしが、  
れるか、楽しみです。  
地区の皆さんの手作りの食べ物をあ  
り、秋の味、お楽しみます。ぜひ来て下さい

かかし祭りの様子